

# Community validation of the U.K. diagnostic criteria for atopic dermatitis in Japanese elementary schoolchildren.

|       |  |
|-------|--|
| 出典    | J Dermatol Sci. 2007 Sep; 47(3): 227-231.<br>( <a href="http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/17544635">http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/17544635</a> )                       |
| 著者    | Saeki H 他  |
| 調査地域  | 2001～2002年：北海道、岩手県、東京都、岐阜県、大阪府、広島県、高知県、福岡県<br>2004～2005年：東京都、大阪府、福岡県   |
| 調査時期  | 2001～2002年、2004～2005年  |
| 調査対象  | 小学1年生（6～7歳）、小学6年生11～12歳）   |
| 有効回答数 | 2001～2002年：16152人<br>2004～2005年：3849人  |
| 診断方法  | 医師による診断<br>UK ワーキンググループに基づく日本語質問票  |
| 有症率   | 2001～2002年：17.3%<br>2004～2005年：15.4%   |
| 調査概要  | 2001～2002年に8地域（北海道、岩手、東京、岐阜、大阪、広島、高知、福岡）、2004～2005年に3地域（東京、大阪、福岡）の小学校1年生と6年生に対し、事前にUK ワーキンググループに基づく質問票を送付し、その後皮膚科医の診察を行った。質問票の感度は71.8%、特異度は89.3%であり、将来的に疫学調査において有用となるかもしれない。 |